

温泉の利点と欠点

玉川温泉の湯は湯川を下るにつれて冷やされ、水中に溶けていた成分が固化し、北投石、硫黄、ケイ酸、重晶石などのさまざまな沈殿物になります。沈殿物は、「湯の花」と呼ばれる微細な結晶と非晶質固体を形成し、バスソルトとして使用するために収穫されます。

強酸性の温泉水は玉川温泉を人気の保養地にした一方で、この水は河川や下流にある稲田に悪影響を及ぼすことがあり、地元の人々はこの悪影響のことを「玉川毒」と呼んでいます。近くの田沢湖も酸性化の影響を受け、湖の魚のほとんどが姿を消しました。

これらの問題に対処するため、多摩川酸性水中和処理施設での水処理などの対策が実施されています。